

火曜日 (3 講座開講)

マルティン・ハイデガー「芸術作品のはじまり」を読む (計9回)

授業時間: 午後の部(16時30分~18時00分) 初日: 4/24 講師: 山取 清

ハイデガーにとって「芸術作品」とは、単に鑑賞のための展示物でも文化遺産でもありません。彼はゴッホの絵画やギリシャの神殿といった「作品」の芸術としての本質の問題を、存在への思索との関わりにおいて捉えようとします。この論文のテーマは「芸術」ですが、前回に取り上げた「言語」と同様に、西洋形而上学の再検討という、『存在と時間』以来の課題への途上に位置づけられるものです。今回は、この論文を中心に、『存在と時間』や二十世紀の20年代から30年代の時代背景や思想的状況にも目を配りながら、ハイデガーの思想を読み解いていきたいと思ひます。



子育ての進化と文化 (計6回)

授業時間: 午後の部(16時30分~18時00分) 初日: 5/8 講師: 中谷 勝哉

子を育てる行動・生態・社会、そして育てられる子の発達について心理学を中心に、しかし広い視野から考えてゆきます。文献・資料を読んできてもらい発表する形式になります。



公益産業を考える - 交通経済の視点から - (計6回)

授業時間: 午後の部(18時10分~19時40分) 初日: 5/8 講師: 新井 圭太

わたしたちの暮らしになくてはならないものの一つに電力、ガス、水道、電気通信、および交通などの所謂公益産業があります。これらの特徴として、他の産業と比べて政府による規制や介入の度合いが多い点が挙げられますが、それはなぜなのでしょう。今回は、その中でも特に交通に焦点を絞り、またテーマも「公共料金(運賃体系)」と「インフラ整備(公共事業)」のあり方の2つに絞った上で、経済の視点から一緒に考えていきたいと思ひます。経済学の素養は全く必要としていませんので、初めての方も取り組めると思ひます。



水曜日 (1 講座開講)

奄美八月踊り唄の宇宙(計9回)

授業時間: 夜の部(18時30分~20時00分) 初日: 4/25 講師: 清 真人

奄美大島の豊年祭に踊られる「八月踊り」とその唄は、古代日本の男女の即興的な唄掛け合いによって織り成されていく「歌垣」の伝統を、今に継承する稀有な踊り唄の世界です。日本民謡広しといえどこのような掛け合い唄の伝統は奄美だけのものです。私は今年「古仁屋八月踊り芸能保存会」会長の富島甫氏と共著で『奄美八月踊り唄の宇宙』という本を出版する予定ですが、出版に先立ち、そこに収録された八月唄の歌詞を紹介解説しながら同書に盛られた考察を披露する講義をおこないます。



木曜日 (3 講座開講)

「源氏物語」を原文で楽しく読む

昼の部: (15時00分~16時30分)計6回 初日: 5/17
夜の部: (18時20分~19時50分)計6回 初日: 4/26

講師: 近藤 百合子

原文を声に出して読んでいきます。音読することで、黙読では見過ごしがちな原作の息遣いやリズムを身体的に直接的に味わうことができます。時には登場人物に、時には作者になりきって、平安貴族の愛と苦悩の世界に遊びましょう。瑣末な文法や語釈にこだわらず、場面場面に関連するエピソードを他の古典作品から引用紹介しつつ、楽しく読みすすめます。前回の続きとして、昼の講座は「夕顔巻の後半部」、から、夜の講座は「須磨巻の冒頭部」から始めます。体験入学の方には、「これまでのあらすじ」をお渡しします。



シュロモー・サンド「ユダヤ人の起源」を読む (計12回)

授業時間: 夜の部(18時30分~20時00分) 初日: 4/26 講師: 鈴木 伸太郎

前年度に引き続き、『ユダヤ人の起源』を皆さんと一緒に読みます。「ユダヤ人」というのは、はたしてひとつの「民族」として成立するのだろうか、というテーマを扱っている本です。近年の歴史研究の成果を踏まえつつ、わたしたちの「常識」を次々と揺さぶります。本講座では、特に「順番」や「分担」を定めたりせずに、分からないところや興味深いところを巡って互いに議論したり、わたしの解説を加えたりしながら進めますので、前年度から参加されていない方でも取り組めると思ひます。



金曜日(2講座開講)

マルクス『資本論』で現代社会を読み解く(計9回)

授業時間:夜の一部(18時30分~20時00分)

初日:4/27 講師:斉藤 日出治



『資本論』における商品・貨幣・資本・労働などのとらえかたによって、激しく変動し危機にある現代の経済と社会がどのように見えてくるかを、みなさんといっしょに考えてみたいと思います。

源信『往生要集』を読む(続)(計12回)

授業時間:夜の一部(18時30分~20時00分)

初日:4/27 講師:長崎 誠人



前年度に引き続き、平安時代に比叡山の僧侶源信によって書かれ、日本の浄土教の基礎を築いた『往生要集』を受講生と一緒に読みます。穢らわしい世界を離れ(厭離穢土)、死後に極楽浄土へ往生する(欣求浄土)ためには念仏する以外にないと説いた『往生要集』が日本文化に与えた影響は多大なものがあります。その世界を受講生とともに味わいたいと思います。今学期からの受講でも大丈夫です。

土曜日(1講座開講)

「世界宗教の経済倫理」から現代社会を考える(計9回)

授業時間:土曜日の部(15時00分~16時30分)

初日:4/28 講師:堀田 泉



マックス・ヴェーバーの「世界宗教の経済倫理」の序論や中間考察を読んでいます。難解な本ですが、一字一句を大切に読み進めます。納得できる理解ができたかな、と思えたとき、同時に現代社会が少しくリアリティが見えてきます。それはとてもスリリングな体験となるでしょう。

日本文化研究所長

各講座の初日体験受講ができます!(複数受講可)

詳しくは、申込書(ダウンロードしてください)に記載しております。

講座一覧表

講座名 (2012年4月~9月)	回数	初日	講師	時間 & 曜日
1 マルティン・ハイデガー『芸術作品のはじまり』を読む	9回	4/24	山取 清	16時30分~18時00分
2 子育ての進化と文化	6回	5/8	中谷 勝哉	16時30分~18時00分
3 公益産業を考える - 交通経済の視点から -	6回	5/8	新井 圭太	18時10分~19時40分
4 奄美八月踊り唄の宇宙	9回	4/25	清 真人	18時30分~20時00分
5 『源氏物語』を原文で楽しく読む(昼の部)	6回	5/17	近藤 百合子	15時00分~16時30分
6 『源氏物語』を原文で楽しく読む(夜の部)	6回	4/26	近藤 百合子	18時20分~19時50分
7 シュロモーン・サント『ユダヤ人の起源』を読む	12回	4/26	鈴木 伸太郎	18時30分~20時00分
8 マルクス『資本論』で現代社会を読み解く	9回	4/27	斉藤 日出治	18時30分~20時00分
9 源信『往生要集』を読む(続)	12回	4/27	長崎 誠人	18時30分~20時00分
10 「世界宗教の経済倫理」から現代社会を考える	9回	4/28	堀田 泉	15時00分~16時30分

全講座の時間割やお手続きの詳細は、お申込み後に郵送させていただきます。
 募集定員に達しない場合は、講座を開講しないことがありますのでご了承ください。
 都合により日程等変更の場合があります。
 迷惑行為等があった場合は、受講をお断りする場合があります。
 前期の募集です。後期は決定次第ご案内させていただきます。

